

中小企業の業況は依然としてマイナスで推移。

山口商工会議所では、管内中小企業100社を対象に景況調査を実施し、このほど令和7年1月～3月期実績と令和7年4月～6月期見通しについての調査結果（回答数82社、回答率82%）をとりまとめた。本調査は、3ヶ月毎に年4回行っている。

全業種のDI値に見る業況判断動向は前期と比較し悪化となった。業種別にみると、製造業は▲23%から▲45%と大幅に悪化、その他3業種は前期同様マイナスで推移している。売上は全業種で前期と比べて減少となり、特に建設業で▲9%から▲33%と、大幅な減少となった。

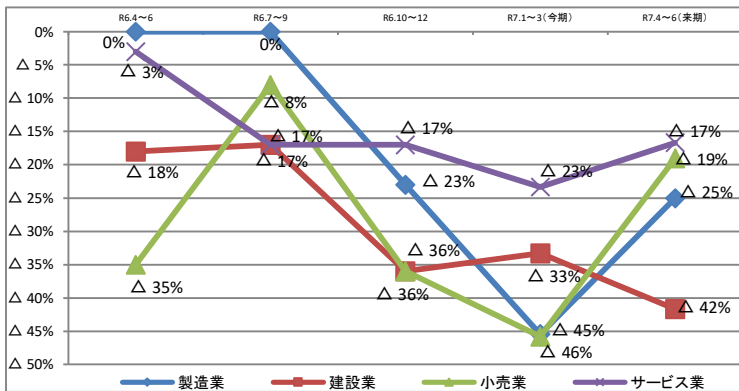
新規設備投資について、今期（1～3月）中に設備投資を実施した企業は全体の18%、来期設備投資を実施予定の企業は14%であった。

経営上の問題点については、製造業、サービス業で人件費の増加が上位に入っているほか、建設業で熟練技術者の確保難が1位になるなど、人材の確保に苦慮している事業所が多いことがうかがえる。また全業種で需要の停滞や消費者ニーズの変化への対応が上位に入っており、業況の悪化の原因の一つとして考えられる。

◆業況DI値（今期の状況）

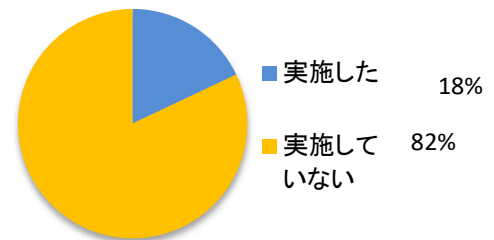
	業況判断	前回調査比	売上	前回調査比	資金繰り	前回調査比	仕入単価	前回調査比	経常利益	前回調査比	従業員数	前回調査比
全産業	△ 35%	↘	△ 30%	↘	△ 29%	↘	60%	↗	△ 44%	↘	1%	↗
製造業	△ 45%	↘	△ 43%	↘	△ 50%	↘	64%	↘	△ 64%	↘	△ 8%	↗
建設業	△ 33%	↗	△ 33%	↘	△ 8%	↗	67%	↗	△ 42%	↘	0%	↗
小売業	△ 46%	↘	△ 42%	↘	△ 38%	↘	54%	↘	△ 43%	↗	16%	↗
サービス業	△ 23%	↘	△ 10%	↘	△ 18%	↘	57%	↗	△ 37%	↘	0%	↘

◆産業別業況判断DI（前3期からの推移と来期見通し）

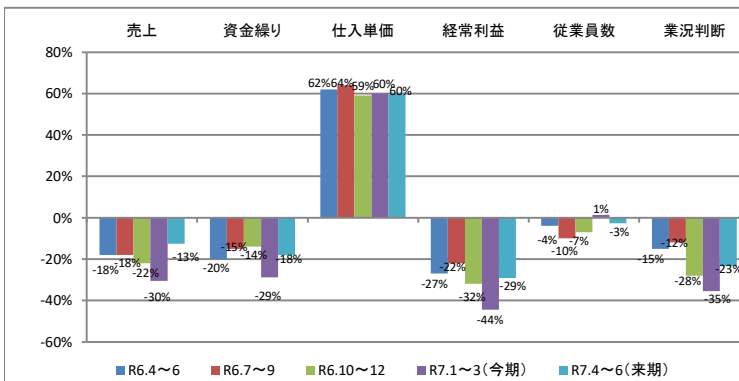


◆新規設備投資（今期実施・来期計画）

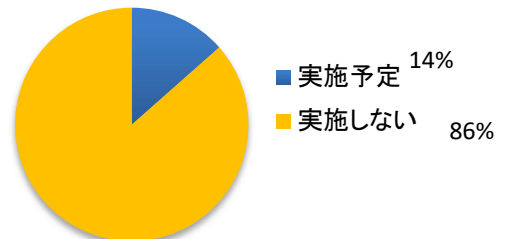
【今期設備投資】



◆全産業DI項目別比較（前3期からの推移と来期見通し）



【来期設備投資計画】



◆経営上の問題点

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位	原材料価格の上昇 29.0%	熟練技術者の確保難 20.7%	仕入単価の上昇 21.3%	人件費の増加 14.5%
2位	需要の停滞 19.4%	官公需要の停滞 17.2%	需要の停滞 14.8%	材料等仕入単価の上昇 14.5%
3位	人件費の増加 12.9%	民間需要の停滞 13.8%	消費者ニーズの変化への対応 13.1%	利用者ニーズの変化への対応 13.2%

※DIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。